

令和3年度

四万十町教育委員会

自己点検・自己評価

【資料】

令和4年9月

四万十町教育委員会

# 目次

1	教育委員会の活動	1
(1)	教育委員会の会議の運営改善	1
①	教育委員会会議の開催	1
(3)	教育委員の自己研鑽	1
①	研修会への参加状況	1
(4)	学校及び教育施設に対する支援・条件整備	2
①	学校訪問	2
②	所管施設訪問	2
2	教育委員会が管理・執行する事務	3
(3)	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	3
(7)	法第29条に規定する意見の申出に関すること。	4
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
(1)	学校教育に関すること。	5
①	学力の定着及び向上	5
I	教材、指導方法、指導形態の開発や改善	5
1)	学力学習状況等調査（全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、Q-U・hyper-QU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）、実施・分析	5
2)	学力到達度把握事業（標準学力検査）	5
3)	外国語教育推進事業（GTEC スコア型英語4技能検定）	5
4)	中高一貫教育推進事業（県指定事業・町単独予算事業）	6
5)	理科教育振興事業	6
6)	教育研究活動	6
7)	学習支援員配置事業	7
8)	夢・志を育む学級運営のための実践事業（夢プロ）の推進	7
II	校内研究体制の確立及び校内研修の活性化	7
1)	地域教育推進事業（校内研究支援事業）	7
2)	県学校支援訪問等連携・支援（授業改善プラン訪問含む。）	8
III	学校経営の充実	8
1)	定例校長会	8
2)	学校運営協議会（コミュニティスクール）	8
3)	働き方改革の推進	9
IV	小小・小中連携推進事業	9
1)	小小・小中連携推進事業	9
V	I C T（情報通信技術）機器の利活用等	9
1)	I C T教育推進事業	9
2)	G I G Aスクール構想の推進	10

VI	開かれた教室・学校・教育委員会	10
	1) 学校評価	10
②	特別支援教育の推進	11
I	適正就学の確立	11
	1) 就学指導事務（就学時検診・就学等教育支援委員会含む。）	11
II	特別支援教育の推進	11
	1) 特別支援教育支援員配置事業	11
	2) 教育相談員派遣事業等	11
	3) 特別支援教育就学奨励金給付事業	12
③	支援を要する子ども・家庭等への支援	12
I	教育相談活動の拡充	12
	1) 教育相談員活動	12
	2) スクールカウンセラー活用事業（県指定事業）	12
	3) 要・準要保護就学援助	13
	4) 奨学金	13
II	教育支援センターの効果的運用、不登校児童生徒への対応・支援	13
	1) 教育支援センター運営・企画	13
III	各関係機関との情報共有・連携活動体制等の強化	14
	1) スクールソーシャルワーカー活用事業（県指定事業）	14
	2) 子ども支援ネットワーク活動	14
④	豊かな心と身体を育む教育の推進	14
I	人権教育の充実	14
	1) 「いのちの学習」推進	14
	2) 教育福祉人材交流事業	15
II	食育の充実・推進	15
	1) 食育の充実と推進	15
	2) 学校給食センター運営	16
III	道徳教育の充実	16
	1) 道徳教育の充実	16
	2) 学校図書館支援員の配置	16
IV	国際理解・環境教育の推進	17
	1) 外国語指導助手（ALT）活用事業	17
V	体力の向上と学校保健教育の徹底	17
	1) 中学校部活動等補助金	17
	2) 体力運動能力等調査実施・分析（国・県調査含む。）	17
VI	ふるさと教育の推進	18
	1) 地域教育推進事業（キャリアアップ事業）	18
	2) ふるさと教育の推進	18

⑤ 児童生徒の安全確保の充実	19
I 安全管理	19
1) 学校施設の整備	19
2) 学校施設改築等計画	19
3) 遊具の安全確保	20
4) 通学対策	20
5) 通学路の安全確保（協議会の開催及び合同点検の実施）	21
II 防災教育の充実	21
1) 防災教育推進事業	21
⑥ 学校適正配置計画	22
I 「四万十町立小中学校適正配置計画」の見直し及び実施	22
1) 学校適正配置推進事業	22
(2) 生涯学習に関すること	23
① 多様な学習活動の推進	23
I 施設開放・学習機会の提供	23
1) 文化講座（コミュニティー施設開放、各種教室・講座推進）	23
2) 高齢者地域活動事業（シルバー大学）	23
3) 人権教育推進事業	24
4) 国際交流促進事業	24
5) 各種団体等への支援（補助金）	25
② スポーツ・レクリエーション活動の推進	26
I 施設開放・活動機会の提供	26
1) 生涯スポーツ推進（社会体育施設等の開放、地域スポーツ競技普及、町民スポーツ大会、レクリエーション活動推進、競技スポーツ大会 等）	26
II 全国発信スポーツ大会の開催	27
1) 全国発信スポーツ大会の開催	27
III 各種関係団体の活動振興、活性化の推進	27
1) 生涯スポーツ団体等支援（補助金等）	27
③ 郷土文化の継承と創造	27
I 文化財の保存活用等	27
1) 国・県・町文化財（登録・活用・保護）活動	27
2) 重要文化的景観保護活用事業	28
II 伝承・伝統文化の継承支援	29
1) 郷土資料館の管理・運営	29
④ 芸術文化活動の推進	29
I 図書館・美術館の充実等	29
1) 町立図書館・美術館管理運営事業	29

⑤	子どもの健全育成の推進	30
I	乳幼児期の養護及び教育の充実	30
	1) 町立保育所管理運営	30
	2) 委託等による保育の実施	31
	3) 多子世帯特定教育・保育施設使用料及び特定保育施設利用者負担金等軽減事業	31
	4) 幼児教育無償化	32
II	子ども・子育て支援対策	32
	1) 子ども・子育て支援対策事業	32
	2) 子育て支援センター管理運営	32
	3) ファミリーサポートセンター	33
III	少年健全育成対策の推進	34
	1) わんぱく学校	34
	2) 子ども会・スポーツ少年団活動支援	34
	3) 青少年育成事業	35
IV	少年非行の早期発見と早期指導	35
	1) 青少年育成補導（青少年育成補導推進事業）	35
V	各種関係機関・地域等との連携	36
	1) 放課後子ども教室	36
	2) 成人式	36
⑥	地域・家庭・関係機関等との連携活動充実	37
I	子ども・家庭の生活習慣の確立	37
	1) 地域の子育て力強化事業	37
II	家庭・地域の教育力の向上	37
	1) 学校支援地域本部事業（地域学校協働本部）	37
⑦	学習環境の向上	38
I	拠点となる施設の拡充等	38
	1) 生涯学習拠点施設の活用	38

この資料については、令和3年度四万十町教育委員会自己点検・自己評価報告書に記載した事項の詳細について取りまとめたものです。

なお、この資料に記載している内容については、報告書に記載している事項の全てに係るものではなく、詳細を記載する必要があるものを抜粋したものとなっています。

## 1 教育委員会の活動

### (1) 教育委員会の会議の運営改善

① 教育委員会会議の開催							
	教育委員会	開催日	審議した内容（議案等）				
			承認	議案	協議	報告	その他
定例会	4月定例会	4月 13日	5	1		3	
	5月定例会	5月 12日	1	2	1	3	1
	6月定例会	6月 8日		7			3
	7月定例会	7月 13日	2	1		1	3
	8月定例会	8月 10日	1	4	1		
	9月定例会	9月 7日	5	3	1	2	5
	10月定例会	10月 12日	1		1		5
	11月定例会	11月 11日		3		2	
	12月定例会	12月 7日		3	1	1	2
	1月定例会	1月 11日	2	3		1	5
	2月定例会	2月 8日		12	2	2	4
	3月定例会	3月 8日		20	1	3	2
	臨時会	7月臨時会	7月 29日	1	1	1	
3月臨時会		3月 1日	5	2			
3月臨時会		3月 22日	1	9	2	1	1
			24	71	11	19	32

### (3) 教育委員の自己研鑽

① 研修会への参加状況		
	開催（実施）日	内 容
参加した 研修会等	4月 1日	校長・教頭・主幹教諭合同会
	4月 9日	高岡地区市町村教育委員会連合会総会
	7月 9日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育委員夏季研修
	11月 12日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育委員秋季研修会
	11月 25日	文化的施設に関する意見交換会
	1月 28日	高岡地区市町村教育委員会連合会理事会（オンライン）
参加した 行事等	1月 2日	成人式
	3月 26日	北ノ川中学校閉校式
(備 考)		
例年、参加していた「四万十町教育関係職員研修会」、「教育委員会県外研修」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。		

(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備

① 学校訪問		
実施日	訪問した学校数	内 容
6月 21日	小学校：2校、中学校：1校	教育長、教育委員、事務局職員（研究所の職員を含む。）が各学校を訪問し、授業参観、管理職等との「教科の学力・児童生徒の支援・組織力向上の取組」を中心とした協議等を行った。
6月 23日	小学校：3校	
7月 5日	小学校：2校、中学校：1校	
7月 7日	小学校：2校	
7月 8日	小学校：2校、中学校：1校	
7月 12日	小学校：1校、中学校：1校	
<p>(備 考)</p> <p>例年、出席していた「卒業式」については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、出席しなかった。また、出席していた「運動会」、「体育祭」についても、本年度は出席しなかった。</p>		

② 所管施設訪問		
実施日	訪問した学校数	内 容
9月 24日	認定こども園：1園 保育所：1園	教育長、教育委員、事務局職員（研究所の職員を含む。）が各施設を訪問し、所長等から運営等の概要説明を受けた。また、施設見学なども行った。
9月 27日	保育所：4園	
9月 30日	保育所：3園 教育研究所 少年補導センター	
10月 1日	保育所：2園 子育て支援センター	
<p>(備 考)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より実施時期が遅くなった。</p>		

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

(3) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。		
規 則	制定 : 1件	
	教育委員会規則	制定した規則
	令和4年第3号	四万十町立図書館長の任用、勤務条件等に関する規則
	一部改正 : 3件	
	教育委員会規則	改正した規則
	令和3年第5号	四万十町教育委員会の権限に属する事務の事務委任及び補助執行に関する規則
	令和4年第1号	四万十町立窪川中学校生徒の通学費の助成に関する規則
	令和4年第2号	四万十町立小学校及び中学校の通学区域に関する規則
細 則	一部改正 : 1件	
	教育長訓令	改正した細則
	令和4年第2号	四万十町立学校管理運営規則施行細則
規 程	制定 : 1件	
	教育長訓令	制定した規程
	令和4年第7号	四万十町立小中学校文書管理規程
	一部改正 : 1件	
	教育長訓令	改正した規程
	令和4年第5号	四万十町県費負担教職員の自家用車の公務使用に関する規程
	廃止 : 1件	
	教育長訓令	廃止した規程
令和4年第6号	四万十町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱に係る取扱規程	
要 綱	制定 : 2件	
	教育委員会告示	制定した要綱
	令和3年第12号	四万十町中学生海外研修事業費補助金交付要綱
	教育長訓令	制定した要綱
	令和4年第1号	四万十町就学指定校変更及び区域外就学事務取扱要綱
	一部改正 : 3件	
	教育長告示	改正した要綱
	令和3年第8号	四万十町通学生ヘルメット購入補助金交付要綱
	令和3年第13号	四万十町通学生ヘルメット購入補助金交付要綱
	令和4年第6号	四万十町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱
	廃止 : 4件	
	教育長訓令	廃止した要綱
	(令和4年第1号)	四万十町立小学校及び中学校における校区外就学に関する取扱要綱
(令和4年第1号)	四万十町立小学校及び中学校における区域外就学に関する取扱要綱	



要 綱	令和4年第3号	四万十町キャリアアップ事業費補助金交付要綱
	令和4年第4号	四万十町小中学校校内研究支援事業費補助金交付要綱
(備 考)		

(7) 法第29条に規定する意見の申出に関する事。	
条 例	なし
予 算	6月議会 : 6月補正予算 9月議会 : 9月補正予算 12月議会 : 12月補正予算 3月議会 : 3月補正予算、令和4年度当初予算
工事請負契約	50,000千円以上のもの : なし
(備 考)	

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

#### (1) 学校教育に関すること。

##### ① 学力の定着及び向上

##### I 教材、指導方法、指導形態の開発や改善

1) 学力学習状況等調査（全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、Q-U・hyper-QU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）、実施・分析	予算額 578 千円	執行額 537,005 円
<p>(現在の実施状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国学力・学習状況調査 : 令和3年 5月27日 実施</li> <li>・ 高知県学力定着状況調査 : 令和3年12月7・8日 実施</li> <li>・ Q-U : 町内全校で2回から3回 実施</li> <li>・ hyper-QU : 町内全校で2回 実施</li> </ul> <p>全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、Q-U、hyper-QUの調査結果について、各校でデータ分析を行い、それぞれの課題に応じた取組を行っている。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】		

2) 学力到達度把握事業（標準学力検査）	予算額 1,300 千円	執行額 1,014,000 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>中学校5教科については1学期（6月）に、小学校3教科（国・算・理）については3学期（1月）に調査を全ての小中学校において実施した。（ただし、小学4・5年生については、高知県学力定着状況調査と重複する教科については実施していない。）</p> <p>結果の検証、課題の改善方法を検討し、授業改善につなげるとともに、個々のつまずきに応じた復習用教材を活用し、学力の定着を図った。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成19年度】		

3) 外国語教育推進事業（GTEC スコア型英語4技能検定）	予算額 850 千円	執行額 848,982 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>小学6年生、中学2年生を対象にGTEC（「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を測定）の実施により、明確となった課題をもとに、学力向上のための手立てを分析・構築し、小中の英語教育の円滑な接続を図った。</p> <p>講師招聘による技能検定の結果等に基づく小中学校の英語担当による研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施ができなかった。また、小学校英語専科の公開授業も参加者を限定したものとなったため、各校には、外国語教育の取組の成果と課題、次年度への取組についてのレポートを提出してもらった。</p>		
(備考) 【事業開始年度：令和元年度】		

4) 中高一貫教育推進事業（県指定事業・町単 独予算事業）	予算額 500 千円	執行額 419,482 円
<p>（現在の実施状況）</p> <p>大正・十和地域では、中高一貫教育推進協議会において、中学校と高等学校間で、数学・英語・国語・音楽等の相互教員交流が行われている。また、同協議会には、国語・社会・数学・理科・英語・進路指導・養護の部会が設置されており、特に国語・数学の部会では、中高の教科指導の「つなぎ教材」の研究が、国語・社会・数学・理科・英語の部会では、中学3年生を対象に共通テストを実施し、結果の分析を行っている。</p> <p>理科部会では、水質調査等をはじめとした環境に関する学習も実施した。</p> <p>中高の教員が各部会に分かれ、公開授業を行い、学力向上に向けての取組を行った。</p> <p>「ふるさと学習発表会」は、県立四万十高等学校で行われ、中・高生が地域をテーマとした調査・研究の成果を発表した。</p>		
<p>（備考）【事業開始年度：平成18年度】</p> <p>加配教員2名（大正中学校1名、十川中学校1名）</p>		

5) 理科教育振興事業	予算額 1,300 千円	執行額 1,194,276 円
<p>（現在の実施状況）</p> <p>理科、算数、数学に関する教育を実施するための設備整備費を補助した。</p> <p>① 仁井田小学校 : 146,976 円      ② 影野小学校 : 166,000 円  ③ 田野々小学校 : 159,300 円      ④ 十川小学校 : 164,000 円  ⑥ 窪川中学校 : 558,000 円</p> <p style="text-align: right;">合 計 : 1,194,276 円</p> <p>※ うち理科教育設備整備費等補助金 597,000 円（1/2 国庫補助）</p>		
<p>（備考）【事業開始年度：平成18年度】</p>		

6) 教育研究活動	予算額 100 千円	執行額 100,000 円
<p>（現在の実施状況）</p> <p>学力の現状分析・研究を実施した。また、教育研究所研究協力校2校（米奥小学校、大正中学校）を指定し、学校現場での実践研究を実施した。</p> <p>研究員が「ICTの効果的活用における情報活用能力の育成と、個別に最適化された質の高い学びの研究」に関するテーマを設定し、町内の小中学校におけるICT活用方法等の情報提供や教材の提案等を行った。</p> <p>教育に関する調査研究・情報収集・情報発信を行った。</p> <p>学校の校内研修に参加し、教育実践の研究支援を行った。</p>		
<p>（備考）【事業開始年度：平成18年度】</p>		

7) 学習支援員配置事業	予算額 385 千円	執行額 261,818 円
(現在の実施状況) 学習支援員は、配置校において放課後や長期休業中に実施した加力学習等での支援を行った。また、それぞれの児童の状況に応じた支援を行った、 学習支援員の配置校と配置人数 興津小学校 : 1人		
(備考) 【事業開始年度：平成27年度】		

8) 夢・志を育む学級運営のための実践事業（夢プロ）の推進	予算額 —	執行額 —
(現在の実施状況) 学級活動を基軸とした特別活動の研究を全ての小中学校で行うことにより、魅力ある学校・学級づくりを組織的に進め、子どもたちの健やかな育ちを目的とした事業で、本年度より四万十町全域（全校）地域指定となった。 高知県教育委員会事務局人権教育児童生徒課の指導主事、國學院大学人間開発学部 杉田洋教授を講師として招聘しての講話やグループ協議を行った。 特別活動に係るマニュアルや様式等を作成し、各校で特別活動の取組が進むよう支援した。		
(備考) 【事業開始年度：令和3年度】		

## II 校内研究体制の確立及び校内研修の活性化

1) 地域教育推進事業（校内研究支援事業）	予算額 4,000 千円	執行額 1,544,989 円	
(現在の実施状況) 各校独自の講師招聘による研修会・先進校視察研修・その他学力向上につながる取組などについて、事前に校長ヒアリングを実施し、本町独自の補助金を交付し、支援を行った。			
事業実施校・補助金額			
学校名	補助金額	学校名	補助金額
仁井田小学校	45,650 円	田野々小学校	142,890 円
影野小学校	247,047 円	北ノ川小学校	42,330 円
七里小学校	106,830 円	十川小学校	160,728 円
米奥小学校	125,220 円	昭和小学校	95,678 円
窪川小学校	142,015 円	窪川中学校	161,700 円
川口小学校	0 円	大正中学校	31,051 円
東又小学校	122,570 円	北ノ川中学校	103,280 円
興津小学校	18,000 円	十川中学校	0 円
合 計		1,544,989 円	

(備 考) 【事業開始年度：平成21年度】

各校において、この事業を活用し実施することとなっていた「先進校視察研修」、「講師招聘」は、昨年度と同じく新型コロナウイルス感染症の影響により、困難な状況にあったため、計画どおり実施できなかった。

2) 県学校支援訪問等連携・支援 (授業改善プラン訪問含む。)

予算額  
—

執行額  
—

(現在の実施状況)

中部教育事務所の学校支援訪問は、16校中14校から希望があり、希望校には年間1回以上の訪問があった。

授業改善プランに係る学校訪問が滞りなく行えるよう、事務処理を適切に行った。

中部教育事務所の指導主事中心に、小中学校の授業改善等への具体的支援・指導を行っていただいた。

(備 考) 【事業開始年度：平成18年度】

### Ⅲ 学校経営の充実

1) 定例校長会

予算額  
—

執行額  
—

(現在の実施状況)

毎月1回開催し、情報共有・協議・意見交換などを行った。

必要に応じて、臨時校長会を開催した。

年間開催回数

定例会 : 11回                      臨時会 : 1回

※ 毎回、教職員の服務規律の確保、新型コロナウイルス感染症対策について、学校全体で取り組むよう徹底した。

(備 考)

2) 学校運営協議会 (コミュニティスクール)

予算額  
465千円

執行額  
363,322円

(現在の実施状況)

米奥小学校と影野小学校が指定をうけ、活動を行っている。

地域の教育力・教育的財産を活用した活動を行うとともに学校・地域の活動に参加するなど、小規模校ならではの特色ある学校づくりを推進している。

今後、令和5年度末までに全小中学校への導入を目指し取組を進める必要がある。

(備 考) 【事業開始年度：平成21年度】

3) 働き方改革の推進	予算額 605 千円	執行額 605,000 円
(現在の実施状況)		
<p>休暇取得の推進と業務の負担軽減のため、本年度から学校閉庁日を16日間（毎年8月5日～20日）に拡大するとともに、中学校における部活動の休養日（平日1、土日の内1日）を実施した。</p> <p>出勤簿の押印の廃止、校務支援システムの効果的な活用による事務処理の簡素化に取り組んだ。また、事務改善と保護者等への効率的な連絡調整を行うため、連絡アプリ「すぐーる」を導入（本格的な活用は来年度から）した。</p> <p>学校徴収金の事務処理の移管や口座振込の推進に取り組むとともに、調理実習費の公費負担化を実施した。</p> <p>上記の取組の推進等のため、四万十町立小中学校教職員働き方改革推進委員会を年間3回開催した。</p>		
(備考) 【事業開始年度：令和2年度】		

#### IV 小小・小中連携推進事業

1) 小小・小中連携推進事業	予算額 175 千円	執行額 0 円
(現在の実施状況)		
<p>全体会としての「四万十町小小・小中連携教育推進協議会」・「実践交流会」と各中学校区に「中学校区小小・小中連携教育推進部会」を組織し、各中学校区の連携教育が一層充実するよう小中学校全教職員の理解を図り、取組を推進している。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成27年度】		

#### V ICT（情報通信技術）機器の利活用等

1) ICT教育推進事業	予算額 68,979 千円	執行額 68,977,590 円
(現在の実施状況)		
<p>本町では、平成22年度から、ICT機器を導入し、子どもたちが共に学びあい、深い学びにつなげる取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前から配置しているICTサポーターを中心に、機器のトラブル対応と操作支援を行った。</li> <li>・ 校務支援システムの活用やデジタル教科書や授業支援ソフトの導入を図った。</li> </ul>		
(備考) 【事業開始年度：平成22年度】		
<p>平成22年度 : 総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト（教育情報化事業）」を活用し、機器を整備</p> <p>平成23年度～ : ICTサポーターの配置</p>		

2) G I G Aスクール構想の推進	予算額 13,229 千円 R2 繰越事業 8,800 千円	執行額 13,076,800 円 R2 繰越事業 8,800,000 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による国のG I G Aスクール構想の前倒しに伴い、小中学校の児童生徒に1人1台のタブレットの整備とコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育推進事業によって任用しているICTサポーターも、機器のトラブル対応及び操作支援を行った。</li> <li>昨年度に購入したタブレット800台の初期設定を行った(2年度繰越)</li> <li>次の機器を整備した。           <ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット : 120台(各校の教員用)</li> <li>充電保管庫 : 2台(窪川小学校・窪川中学校:昨年度の導入時不足分)</li> <li>印刷機 : 21台(更新したタブレット用)</li> <li>タッチペン : 1,130本(タブレットの画面操作用)</li> </ul> </li> <li>学習支援ツール「ロイロノート・スクール」を導入した。</li> </ul>		
<p>(備考) 【事業開始年度:令和2年度】</p>		

## VI 開かれた教室・学校・教育委員会

1) 学校評価	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>四万十町立学校管理運営規則により、「学校の自己評価」の実施とその結果についての公表を義務付けている。</p> <p>また、同規則において、「学校の自己評価」の結果を踏まえた「学校関係者評価」の実施と公表については、努力義務としている。</p> <p>「学校の自己評価」と「学校関係者評価」の結果については、教育委員会への報告を義務付けている。</p> <p>本町では、全小中学校で「学校の自己評価」、「学校関係者評価」が実施されている。</p>		
<p>(備考)</p>		

## ② 特別支援教育の推進

### I 適正就学の確立

1) 就学指導事務 (就学時検診・就学等教育支援委員会含む。)	予算額 71千円	執行額 43,000円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>特別支援学級の設置状況</p> <p>小学校 : 10校 16学級 (在籍: 27名)</p> <p>中学校 : 4校 5学級 (在籍: 10名)</p> <p>就学等教育支援委員会を行い障害のある児童生徒の就学指導を行った。</p> <p>障害があると推察される児童生徒に対し、教育相談を実施し就学の方向の確認を行った。</p> <p>保育所・認定こども園と小学校間の連絡・連携、福祉機関との連携により、就学前の児童の状況把握に努めている。</p> <p>教育研究所支援チームと連携し、年間を通じて児童生徒の情報収集、観察等、体制の充実に努めている。</p>		
(備考) 【事業開始年度:平成18年度】		

### II 特別支援教育の推進

1) 特別支援教育支援員配置事業	予算額 59,536千円	執行額 56,087,293円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>各校からの配置要望を受け、事務局で協議(校長ヒアリングを実施)を行い、適切な支援が行えるよう特別支援教育支援員を配置し、それぞれの児童生徒に応じた支援を行った。</p> <p>配置人数</p> <p>小学校 : 24名(12校)</p> <p>中学校 : 5名(3校)</p> <p>計 : 29名(15校)</p>		
(備考) 【事業開始年度:平成19年度】		

2) 教育相談員派遣事業等	予算額 県対応	執行額 県対応
<p>(現在の実施状況)</p> <p>教育相談員派遣事業</p> <p>内容 : 特別な教育的支援を要する就学前の児童、小中学校に在籍する児童生徒、保護者に対し、県立特別支援学校から教育相談担当者を派遣していただき、適切な就学・学びの場の柔軟な見直し・進路選択が円滑に行なわれるよう教育相談を実施した。</p> <p>教育相談件数</p> <p>保育所(5所) : 8件</p> <p>小学校(4校) : 9件</p> <p>中学校(2校) : 4件</p>		



外部専門家を活用した支援体制充実事業

内容： 発達障害等、特別な支援を要する就学前の児童、小中学校に在籍する児童生徒に対し、県教育委員会から専門知識・経験を持つ巡回相談員を派遣していた  
だき、特性に応じた適切な指導・支援の充実を図った。

巡回相談件数 保育所（1所）： 1件  
小学校（2校）： 7件  
中学校（1校）： 1件

(備考)

3) 特別支援教育就学奨励金給付事業

予算額  
674 千円

執行額  
532,783 円

(現在の実施状況)

小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費等の経済的支援を行った。

給付件数： 21件

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

③ 支援を要する子ども・家庭等への支援

I 教育相談活動の拡充

1) 教育相談員活動

予算額  
3,311 千円

執行額  
3,301,038 円

(現在の実施状況)

教育相談員（2名）が窪川地域と十和・大正地域を分担して相談活動を行っている。

不登校については、学校・教育支援センターと連携しながら、家庭訪問等により登校を支援するとともに、教育支援センター各教室に通うよう促している。また、義務教育終了後進路が未決定の子どもたちに家庭訪問等に関わり、進路や就職に向けての相談や情報提供など自立を目指した支援を行っている。

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

2) スクールカウンセラー活用事業（県指定事業）

予算額  
県対応

執行額  
県対応

(現在の実施状況)

県教育委員会から派遣されたスクールカウンセラーを町内の全ての小中学校（16校）に配置し、児童生徒、保護者、教員に対するカウンセリング、助言・援助を実施した。

(備考)

3) 要・準要保護就学援助	予算額 12,758千円	執行額 10,826,881円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>援助件数(保護者に対して学用品費等の支援を行った件数)</p> <p>要保護児童生徒 : 2件</p> <p>準要保護児童生徒 : 210件</p> <p>本年度も新入学用品費の支給を入学前に実施できるようにした。</p> <p>要保護児童生徒 : 0件</p> <p>準要保護児童生徒 : 38件</p>		
(備考)【事業開始年度:平成18年度】		

4) 奨学金	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>奨学生候補者採用申請について、奨学生審査委員会において審査を行い、その審査結果に基づき奨学金の貸し付けを行った。</p> <p>本年度基金貸付額 : 2,330,000円</p> <p>本年度基金償還額 : 7,074,438円</p> <p>昨年度末貸付者数 : 58名</p> <p>(本年度に貸付を行った者 : 6名 高校生:6名)</p> <p>(本年度新規に貸付を行った者 : 1名 高校生:1名)</p> <p>本年度完済者数 : 6名</p> <p>本年度末貸付者数 : 53名</p>		
(備考)【事業開始年度:平成18年度】		

## II 教育支援センターの効果的運用、不登校児童生徒への対応・支援

1) 教育支援センター運営・企画	予算額 8,823千円	執行額 8,629,410円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>通室生数(一時通室を含む。)</p> <p>週5日開室 「かげつ(窪川)」 : 4名</p> <p>週1日(火曜日)開室 「とおわ(十和)」 : 0名</p> <p>週4日(木曜日)開室 「たのの(大正)」 : 2名</p> <p>SSW,教育相談員、指導員対応・・・約130件</p> <p>小・中・高の教員免許を所有する指導員を配置し、様々な児童生徒の状況に応じた支援が行える体制を整備している。</p> <p>通室生に対して、自主学習・体験学習などを通して心の安定を図り、自信を持つことができるよう支援・指導を行うとともに、家庭訪問を実施し、通室に向けての支援を行った。</p> <p>保護者と状況を共有することにより、不安解消等の保護者支援を行った。</p>		
(備考)【事業開始年度:平成18年度】		

### Ⅲ 各関係機関との情報共有・連携活動体制等の強化

1) スクールソーシャルワーカー活用事業（県指定事業）	予算額 4,645 千円	執行額 4,640,672 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>学校と他の教育機関、福祉機関をつなぐコーディネーターとして教育研究所にSSWを2名配置し、町内を2つの地域に分け、それぞれが分担し丁寧な活動を行っている。</p> <p>SSWが、子どもを取り巻く環境に関することや問題行動などについて、学校・保育所等を中心として情報収集・アドバイス等を行い、関係機関と連携し対応した。</p> <p>県の事業による高等学校への訪問も実施され、家庭環境等も理解したうえで、小中高をつなげての支援となった。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成20年度】		

2) 子ども支援ネットワーク活動	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>要支援の児童生徒については、学校訪問などによって、子どもの様子や状況を把握し、関係機関と情報の共有を行っている。また、要保護児童対策協議会において、支援方法、各機関の役割分担等について協議を行った。</p> <p>会議の開催状況 : 代表者会 1回 定例会 6回 実務者会 4回 個別支援会 7回                      合計18回</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成21年度】		

#### ④ 豊かな心と身体を育む教育の推進

##### I 人権教育の充実

1) 「いのちの学習」推進	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>学校等で計画された「いのちの学習」に対して、教材の貸し出しや授業参観等により教育研究所が支援を行った。</p> <p>貸し出し教材を活用しての「いのちの学習」は、学校では授業の中で実施され、保育所等では、発達段階に応じて実施されている。</p> <p>「いのちの学習」教材の貸出状況</p> <p>保育所 : 7回（川口保育所、小鳩保育所、昭和保育所、くぼかわ保育所）</p> <p>認定こども園 : 7回（認定こども園たのの）</p> <p>小学校 : 3回（仁井田小学校、東又小学校、昭和小学校）</p> <p>中学校 : 1回（大正中学校）</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】		

2) 教育福祉人材交流事業	予算額 23 千円	執行額 22,350 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>令和3年8月3日に次の内容の交流研修を実施した。</p> <p>参加者 : 26名(教職員:19名、町職員:6名、その他:1名)</p> <p>スタッフ : 10名</p> <p>内容 : 社会福祉団体の職員による講話「本町の現状について」、公共施設を利用しての車いす体験、高齢者疑似体験、講師を招聘しての手話体験、グループで協議、発表や質疑など</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度:平成21年度】</p> <p>しまんと町社会福祉協議会との共催</p>		

## II 食育の充実・推進

1) 食育の充実と推進	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>3地域(窪川、大正、十和)の学校給食センターにおいて、町内全域での完全給食を実施している。</p> <p>各学校給食センターの栄養教諭(2名)・臨時学校栄養教諭(2名)を中心に食育の学習、食指導を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育の学習、食指導の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>食育の日(毎月19日頃)に、3学校給食センターで共通の町内産食材を使った給食を提供し、地産地消を推進する取組を実施した。また、全国のご当地料理を給食に取り入れ、「栃木県の給食」などを9回提供した。</li> <li>栄養教諭部会を年間4回開催し、食指導や献立の検討、情報交換を行った。</li> </ul> </li> </ul>		
<p>(備考) 【事業開始年度:平成21年度】</p>		

2) 学校給食センター運営	予算額 231,942 千円	執行額 225,904,911 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>3 学校給食センターにおいて、平成 26 年度より調理業務を完全委託し、共同調理を行い、完全給食を実施している。</p> <p>本年度の調理食数（1 日あたり）</p> <p>窪川学校給食センター : 1,004 食</p> <p>大正学校給食センター : 172 食</p> <p>十和学校給食センター : 145 食</p> <p>給食費の月額 小学校 : 4,500 円</p> <p>中学校 : 4,900 円</p> <p>食の安全の確保については、法令で定められた年 1 回の食品点検を実施するほか、食材の放射性物質の測定を毎月 1 回行っている。</p> <p>栄養教諭部会において、献立の検討、情報交換を行った。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成 21 年度（窪川）】		

### Ⅲ 道德教育の充実

1) 道德教育の充実	予算額 県対応	執行額 県対応
<p>(現在の実施状況)</p> <p>本年度は、四万十町道德教育推進協議会を年 3 回計画し、第 1 回推進協議会を 6 月に実施し、町としての課題や本年度の取組や各校で意識して取り組むこと等について確認した。</p> <p>2 学期は、授業づくり講座への参加（各校 1 名以上）とレポート提出を課した。</p> <p>第 2 回の推進協議会（2 月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、授業チェックシートや道德意識調査の結果（町集計）を文書で報告した。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成 22 年度】		

2) 学校図書館支援員の配置	予算額 4,061 千円	執行額 4,043,008 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>窪川小学校と窪川中学校に学校図書支援員各 1 名を配置し、図書の整理・貸出図書の管理を行い、学校図書館機能の充実を図った。</p> <p>学校図書支援員を配置していない学校については、町立図書館との連携などにより、図書の整理や環境の整備等の課題に対応した。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成 22 年度】		

#### IV 国際理解・環境教育の推進

1) 外国語指導助手（ALT）活用事業	予算額 27,654 千円	執行額 26,668,852 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度と同様に来日予定者が入国できなかったため、年度当初は、2名が全小中学校を担当し、外国語指導の助手としての活動を行った。</p> <p>11月から12月にかけて来日予定者が入国できるようになってきたが、予定していた5名体制は3学期からとなった。学校での授業回数の大幅な増加を図ることは、困難な状況であったが、昨年度よりは訪問回数を確保できた。</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p>		

#### V 体力の向上と学校保健教育の徹底

1) 中学校部活動等補助金	予算額 4,440 千円	執行額 3,174,638 円																								
<p>(現在の実施状況)</p> <p>町立中学校の部活動等の振興を図るため、次のとおり補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動に対する補助 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">窪川中学校</td> <td style="width: 33%;">： 1,378,601円</td> <td style="width: 33%;">大正中学校</td> <td style="width: 33%;">： 321,000円</td> </tr> <tr> <td>北ノ川中学校</td> <td>： 214,000円</td> <td>十川中学校</td> <td>： 383,000円</td> </tr> </table> </li> <li>・ 県体等に対する補助 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">窪川中学校</td> <td style="width: 33%;">： 75,906円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>中学校体育連盟</td> <td>： 355,650円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </li> <li>・ 地区体等に対する補助 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">中学校体育連盟</td> <td style="width: 33%;">： 294,183円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </li> <li>・ 宿泊体験学習事業に対する補助 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">窪川中学校</td> <td style="width: 33%;">： 62,987円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </li> </ul>			窪川中学校	： 1,378,601円	大正中学校	： 321,000円	北ノ川中学校	： 214,000円	十川中学校	： 383,000円	窪川中学校	： 75,906円			中学校体育連盟	： 355,650円			中学校体育連盟	： 294,183円			窪川中学校	： 62,987円		
窪川中学校	： 1,378,601円	大正中学校	： 321,000円																							
北ノ川中学校	： 214,000円	十川中学校	： 383,000円																							
窪川中学校	： 75,906円																									
中学校体育連盟	： 355,650円																									
中学校体育連盟	： 294,183円																									
窪川中学校	： 62,987円																									
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年補助してきた町長杯野球大会は実施されなかった。</p>																										

2) 体力運動能力等調査実施・分析（国・県調査含む。）	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」「高知県体力・運動能力、生活実態等調査」の結果について、各校で分析を行った。また、四万十町の傾向についても把握した。</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p>		

## VI ふるさと教育の推進

1) 地域教育推進事業（キャリアアップ事業）	予算額 2,164千円	執行額 1,409,181円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>四万十町内の全小中学校（16校）に対し、予算の範囲内で補助金（児童・生徒数等により算定した額）を交付し、地域教育推進事業（各校で実施する独自の事業）を支援した。</p> <p>各校で実施された主な事業内容</p> <p>通常枠：あいさつ運動、職場体験活動、自然体験活動、世代間交流活動、美化活動、広報活動、地域との連携活動、ボランティア活動、開かれた学校づくり、地域・家庭の教育力向上を目指す取組、情操教育、道徳教育の充実など</p> <p>防災枠：屋外掲示パネルの設置、防災視察研修、防災用品の購入、防災学習会、救急法講習、炊き出し訓練、防災訓練、体験学習、地震・津波に備える啓発活動など</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成19年度】</p>		

2) ふるさと教育の推進	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>昨年度全面改訂した小学3・4年生用の社会科副読本「わたしたちのまち四万十町」を活用し地域学習を進め、検証委員会で、活用状況の検証を行った。</p> <p>また、地域の先人に学ぶことを目的とし、副読本「しまんとヒストリア 具眼のリベラリスト 谷干城物語」の冊子を小学4年生に配布した。</p> <p>副読本「しまんとヒストリア 具眼のリベラリスト 谷干城物語」の活用状況について、小学4年生から6年生の担任を対象にアンケート調査（11月）を行い、「学習している」又は「今後学習予定」という回答が5割という結果であった。活用場面の問いでは、社会科の授業と答えた回答が最も多く、道徳や特別活動の時間、調べ学習や読書での活用も挙げられていた。</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成30年度】</p> <p>町内の全ての小学5年生を対象に米奥小学校下の河原で実施することとしていた「四万十川体験学習」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>		

⑤ 児童生徒の安全確保の充実

I 安全管理

1) 学校施設の整備	予算額 87,326,000 円	執行額 83,304,721 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>全ての教育施設について、施設の安全面の確認等を行い、危険箇所を発見した際には早急な対応を行っている。</p> <p>学校施設の損傷や不具合、不良箇所（漏水・雨漏り・鉄骨等腐食・消防設備等）の修繕、危険箇所（転落防止・モルタル剥離）の改修を行った。</p> <p>本年度に実施した主な改修工事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道設備改修工事 : 窪川地域 9校（休校中を除く全小中学校） 大正地域 4校（休校中を除く全小中学校） 十和地域 3校（休校中を除く全小中学校）</li> <li>・ 遊具改修工事 : 窪川地域 6校 （仁井田小学校、影野小学校、七里小学校、米奥小学校、窪川小学校、川口小学校） 大正地域 2校 （田野々小学校、北ノ川小学校） 十和地域 2校 （十川小学校、昭和小学校）</li> <li>・ トイレ改修工事 : 米奥小学校</li> <li>・ 防火戸改修工事 : 窪川中学校</li> <li>・ 空調機整備工事 : 興津ぼうさいミュージアム（休校中興津中学校）</li> <li>・ テニスコート改修工事 : 窪川中学校</li> <li>・ 教室前廊下改修工事 : 窪川中学校</li> <li>・ トイレ前廊下改修工事 : 窪川中学校</li> </ul>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p>		

2) 学校施設改築等計画	予算額 —	執行額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>昨年度末に策定した「学校施設等長寿命化計画」に基づき、整備計画を策定した。</p> <p>令和元年度 : 学校施設等の長寿命化計画を策定するため、学校施設の建物・設備等の老朽化について調査を行った。</p> <p>令和2年度 : 昨年度に実施した老朽化調査結果について分析を行い、またその結果を基に「学校適正配置計画」と整合性を図りながら、「学校施設等長寿命化計画」を策定し、ホームページへ公開した。</p> <p>令和3年度 : 昨年度に策定した「学校施設等長寿命化計画」に基づき、施設の整備計画を策定した。</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成24年度】</p>		



3) 遊具の安全確保	予算額 15,661千円	執行額 14,543,035円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>設置遊具の状況調査を行い、必要に応じて遊具の撤去・改修を行っている。平成29年度から毎年、専門業者による安全点検を実施している。</p> <p>点検結果に基づき、改修・撤去・再設置した遊具</p> <p>仁井田小学校 : 一輪車練習機(改修)、バスケットリング・一輪車補助具(撤去)、ブランコ(撤去・再設置)</p> <p>影野小学校 : 滑り台・一輪車練習機(改修)、登り棒・バスケットリング・一輪車補助具・ブランコ(撤去)、鉄棒(撤去・再設置)</p> <p>七里小学校 : サッカーゴール(改修)、チェーンネット・登り棒・鉄棒(撤去)</p> <p>米奥小学校 : フットサルゴール(改修)</p> <p>窪川小学校 : ジャングルジム(改修)、ネット遊具・リングジャングル・タイヤ遊具(撤去)、雲梯(撤去・再設置)</p> <p>川口小学校 : 滑り台(改修)、登り棒(撤去)</p> <p>東又小学校 : ゴールネット(撤去)</p> <p>田野々小学校 : 登り棒(改修)、滑り台・マスト登り(撤去)、鉄棒・雲梯(撤去・再設置)</p> <p>北ノ川小学校 : 登り棒丸型・一輪車練習機(改修)、鉄棒・マスト登り・雲梯・一輪車補助具(撤去)</p> <p>十川小学校 : 電柱ベンチ(撤去)、鉄棒・滑り台・雲梯(撤去・再設置)、</p> <p>昭和小学校 : 鉄棒(撤去・再設置)</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成24年度】		

4) 通学対策	予算額 51,145千円	執行額 44,639,220円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>児童生徒の通学手段の確保とともに通学にかかる費用の負担軽減のため、次のとおり対策を実施した。</p> <p>① 通学バス定期券の購入 : 10,809,930円</p> <p>② 遠距離通学生徒補助金 : 79,000円</p> <p>③ 通学用ヘルメット購入補助 : 31,369円</p> <p>④ スクールバス運行委託料 : 26,141,884円</p> <p>⑤ スクールバス維持管理経費 : 7,577,037円</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】		

5) 通学路の安全確保（協議会の開催及び合同点検の実施）	予算額 —	決算額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>警察、道路管理者、学校関係者等を委員とする通学路安全対策連絡協議会において、合同点検を夏季に（1回）実施した。</p> <p>合同点検は、事前に各小中学校等から通学路の危険箇所の情報を収集し、新規箇所を重点に行うとともに対策を検証・協議し、危険箇所の改善に努めている。</p> <p>令和元年度から、「交通安全」だけでなく、「防犯」の観点についても本協議会を活用して協議・検証していく体制に改め、児童生徒のさらなる安全確保を図っている。</p> <p>本年度に行った合同点検 ※前年からの継続箇所も点検を行っている</p> <p>窪川地区 : 31箇所（防犯は13箇所）</p> <p>大正・十和地区 : 14箇所（防犯は11箇所）</p> <p>「通学路安全対策連絡協議会」の役割に交通安全確保の視点に加え「登下校防犯プラン」に基づく防犯の視点で取組を行うよう関係機関と調整を行い、通学路の防犯における危険箇所の情報共有を行った。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成26年度】		

## II 防災教育の充実

1) 防災教育推進事業	予算額 102千円	決算額 33,430円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>学校での防災教育について、本町の危機管理課と情報を共有し支援した。</p> <p>全小中学校で防災学習（5時間）や避難訓練（3回）に取り組んでいる。また、防災教育アドバイザーを委嘱し、各校の希望に応じて派遣（6回）し、防災教育の充実に努めた。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成30年度】		

⑥ 学校適正配置計画

I 「四万十町立小中学校適正配置計画」の見直し及び実施

1) 学校適正配置推進事業	予算額 7,650千円	執行額 6,856,359円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>令和元年7月に策定した「第2期四万十町立小中学校適正配置計画」に基づき、次のとおり取組を進めた。</p> <p>計画では、令和3年4月としていた北ノ川中学校と大正中学校の統合を令和4年4月とすることを決定していたため、円滑に実施できるよう、保護者との協議等を次のとおり行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北ノ川中学校と大正中学校の統合に向けた協議等           <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年 4月16日 : 北ノ川小・中学校PTAからの「令和4年4月北ノ川中学校と大正中学校の統合」に関する意見具申について回答</li> <li>令和3年11月11日 : 北ノ川小・中学校保護者と統合に関する協議</li> <li>令和4年 3月26日 : 閉校記念式典 (実行委員会の実施回数 : 準備会1回を含め8回)</li> </ul> </li> </ul> <p>また、計画では令和6年4月としていた小学校の統合について、各校の状況や歴史、保護者・地域住民の考え方等が大きく異なる状況があること等を踏まえ、次のとおり計画の運用方針の見直しを行った。</p> <p>統合の時期 : 令和6年4月 → 令和7年4月以降 (令和6年度以前の統合も可)</p> <p>統合の枠組み : 窪川小学校への統合としている松葉川地区の学校 (七里小学校・米奥小学校) と仁井田地区の学校 (仁井田小学校・影野小学校) については、それぞれの地区に1校とする選択もできることとした。</p> <p>この運用方針の見直しに伴い、次のとおり地域住民を対象に説明会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年 9月28日 : 川口小校区</li> <li>          29日 : 興津小校区</li> <li>10月 5日 : 昭和小校区</li> <li>          7日 : 十川小校区</li> <li>         14日 : 仁井田小校区</li> <li>         19日 : 影野小校区</li> <li>         20日 : 米奥小校区</li> <li>         25日 : 七里小校区</li> <li>         28日 : 北ノ川小校区</li> </ul>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成20年度】</p>		

(2) 生涯学習に関すること

① 多様な学習活動の推進

I 施設開放・学習機会の提供

1) 文化講座（コミュニティー施設開放、各種教室・講座推進）	予算額 590 千円	決算額 429,538 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>例年、子どもから高齢者までを対象に、多様な学習機会となるよう教室等を実施しているが、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおりの実施とはならなかった。</p> <p>実施した教室・講座と参加者等</p> <p>① ENSEMBLE CALME（音楽イベント） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>② ゆかたの着付け教室 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>③ 親子ヨガ 1回 : 11組（22人）</p> <p>④ 古文書ワークショップ（7回講座） 1回目：16人 2回目：中止 3回目：中止 4回目：17人 5回目：16人 6回目：中止 7回目：中止</p> <p>⑤ 食育ワークショップ ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>⑥ 陶芸教室 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成29年度】		

2) 高齢者地域活動事業（シルバー大学）	予算額 193 千円	決算額 46,070 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>各種講演会、スポーツ・レクリエーション等、年間を通していろいろな取組を行った。</p> <p>(1) 対象者等</p> <p>① 対象 : 60歳以上の町民</p> <p>② 委員11人による運営委員会 : 2回</p> <p>(2) 主な活動</p> <p>① 講演会（1回～開校式時、） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>② 視察研修（県内日帰り2回） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>③ スポーツ活動（グラウンドゴルフ大会・ゲートボール大会） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>④ 文化活動（詩） 雪柳の会（毎月第1水曜日） 昨年度は活動なし</p> <p>⑤ 交流活動 グラウンドゴルフ合同練習（毎月第3木曜日）</p>		
(備考) 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの活動が出来なかった。		

3) 人権教育推進事業	予算額 4,351千円	決算額 3,301,651円
(現在の実施状況)		
<p>四万十町人権教育研究協議会と連携（事務局・活動費支援を含む。）し人権を尊重するまちづくりをめざし、研修や勉強会を企画した。</p> <p>令和4年1月22日には、四万十町人権教育研究協議会人権講演会として第12回四万十町人権教育研修会「心の傷を癒すということ」を大正地域で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>窪川支部では、6月25日に予定されていた定期大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、本町で策定に取り組んでいる人権条例についての情報交換会が臨時役員会として5回（通算10回）開催された。大正支部・十和支部では、研修として王希奇「一九四六」高知展・宝田明講演会に参加している。</p> <p>人権尊重の町づくりを進めるための活動（上記の活動など）を推進している団体に対し、支援（補助金）を行った。</p>		
四万十町人権教育研究協議会		79,766円
" 窪川支部	1,	066,844円
" 大正支部		0円
" 十和支部	432,	141円
計		1,578,751円
その他諸経費（需用費等）		297,000円
(備考) 事業開始年度 平成20年度～		

4) 国際交流促進事業	予算額 150千円	決算額 63,989円
(現在の実施状況)		
<p>1. 国際交流事業 : 国際交流員（CIR）による町内の保育所訪問や異文化ふれあい教室などを実施し、国際感覚を持った人材の育成に努めた。</p>		
(1) 英語教室 授業実施回数 : 325回		
申込人数	窪川地区	桜 : 11名 椿(子ども) : 19名 睡蓮 : 13名 梅 : 9名 百合 : 5名
	大正地区	薔薇(子ども) : 5名 紫陽花 : 2名
	十和地区	ひまわり(子ども) : 8名 桃 : 4名
(2) 韓国語教室 授業実施回数 : 37回		
申込人数	窪川地区	初級1 : 12名 初級2 : 17名 中級(昼) : 10名 中級(夜) : 14名 上級 : 3名
	大正地区	初級 : 3名

(3) CIR活動

① 保育所・幼稚園訪問 [毎月希望日に訪問]

5、6月 : 11回      7、8月 : 13回      9、10月 : 15回  
11、12月 : 15回      1、2月 : 7回

② 通訳・翻訳 [英語・韓国語]

和順高校(韓国)と窪川高校の交流会での通訳

(備考)

例年、実施されていた「高幡中学生海外研修事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

5) 各種団体等への支援(補助金)	予算額 1,872千円	決算額 1,156,522円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>社会教育、団体活動の活性化を図るため、各種関係団体の活動等について支援を行った。</p> <p>① 小中学校PTA連絡協議会 [実績] 163,552円 【目的】 町内小中学校PTA相互の連携と交流をはかり、PTA活動の向上発展と教育の振興、児童生徒の幸福増進に寄与する。</p> <p>② 四万十川轟太鼓保存会 [実績] 78,000円 【目的】 事業活動を通しての地域の活性化、人づくりに寄与するとともに、地域に根差した伝承文化となるよう創作太鼓の保存、継承、発展に努める。</p> <p>③ 四万十町連合婦人会 [実績] 588,000円 【目的】 町内婦人会相互の親睦を図り、婦人の教養を高め、生活と地位向上に努めるとともに、明るい町づくりに寄与する。</p> <p>④ 大正連合青年団 [実績] 0円 十和連合青年団 [実績] 120,000円 【目的】 地域に住み、地域で働く青年が集まり地域イベントなどを通して地域振興に寄与する。</p> <p>⑤ 四万十町文化協会 [実績] 206,970円 【目的】 四万十町内の芸術団体または個人が相互の交流を図り、地域住民と一体となり四万十町内の芸術、文化の向上に寄与する。</p>		
<p>(備考)</p>		

② スポーツ・レクリエーション活動の推進

I 施設開放・活動機会の提供

<p>1) 生涯スポーツ推進 (社会体育施設等の開放、地域スポーツ競技普及、町民スポーツ大会、レクリエーション活動推進、競技スポーツ大会等)</p>	<p>予算額 4,618千円</p>	<p>執行額 3,257,850円</p>
<p>(現在の実施状況)</p> <p>1. スポーツ・レクリエーション、健康維持増進等の場として、施設(プール・体育館)を提供することにより、地域スポーツ等の振興、生涯スポーツ等に親しむ生活習慣推進、健康・競技力等の向上が図られた。</p> <p>特にプールを活用した取組では、町内外から幅広い年齢層の利用があり、日ごろの運動不足やストレスの解消など健康維持・増進の場となっている。また、水泳教室・水泳大会等は、各種競技力の向上等にもつながっている。</p> <p>2. 住民が参加しやすい大会や教室を、「総合型地域スポーツクラブ」と協働(業務委託)して実施した。</p> <p>① NPO法人くぼかわスポーツクラブ 1,372,963円</p> <p>【大会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミックスバレーボール大会 6チーム</li> <li>・ ソフトテニス大会 10チーム</li> <li>・ バドミントン大会 20チーム</li> <li>・ 硬式テニス大会 6チーム</li> <li>・ 少年剣道大会 21名</li> <li>・ スカッシュバレーボール大会 5チーム</li> <li>・ ソフトバレーボール大会 4チーム</li> </ul> <p>② 大正・十和スポーツクラブ 1,884,887円</p> <p>【大会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソフトボール大会 110人</li> <li>・ スカッシュバレーボール大会 6チーム</li> <li>・ ソフトバレーボール大会 7チーム</li> <li>・ グラウンドゴルフ大会 21名</li> <li>・ バドミントン大会 9チーム</li> <li>・ ソフトテニス大会 12名</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 3,257,850円</p> <p>3. 窪川B&amp;G海洋センターの管理運営業務を委託(指定管理)</p> <p>指定管理者 : NPO法人くぼかわスポーツクラブ</p> <p>指定管理料 : 49,175,000円</p>		
<p>(備考)</p>		

## II 全国発信スポーツ大会の開催

1) 全国発信スポーツ大会の開催	予算額 11,250 千円	決算額 2,315,626 円
(現在の実施状況)		
<p>昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった「四万十川ウルトラマラソン」は、オンラインチャレンジ形式で開催された。</p> <p>また、「四万十川桜マラソン大会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十川桜マラソン大会実行委員会への補助金 2,315,626 円</li> <li>※ 桜マラソン大会については、大会直前の中止が決定したため、大会開催に向けての準備に要する費用が発生した。</li> <li>・ 四万十川ウルトラマラソン負担金 0 円</li> </ul>		
(備考)		

## III 各種関係団体の活動振興、活性化の推進

1) 生涯スポーツ団体等支援（補助金等）	予算額 2,646 千円	決算額 1,980,200 円
(現在の実施状況)		
<p>生涯スポーツ団体などが行う活動等に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① NPO法人くぼかわスポーツクラブ（総合型スポーツクラブ） 588,000 円</li> <li>② 大正・十和スポーツクラブ〈総合型地域スポーツクラブ〉 1,137,200 円</li> <li>③ 各種スポーツ大会出場助成 255,000 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体1（全国大会：ソフトボール） 225,000 円</li> <li>・ 個人1（全国大会：陸上） 30,000 円</li> </ul> </li> <li>④ 高知縣市町村対抗駅伝大会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 0 円</li> </ul>		
(備考)		

### ③ 郷土文化の継承と創造

#### I 文化財の保存活用等

1) 国・県・町文化財（登録・活用・保護）活動	予算額 9,837 千円	決算額 9,836,050 円
(現在の実施状況)		
<p>国・県・町指定文化財について、保護活用等に取り組んだ。</p> <p>1. 国・県・町指定文化財、埋蔵文化財等の保護活用等を図った。</p> <p>(1) 文化財の保護活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 四万十町文化財保護審議会（2回開催）</li> <li>② 文化財パトロールを実施</li> <li>③ 埋蔵文化財包蔵地の開発行為による立会及び事前調査（必要に応じて随時）</li> </ul>		



(2) その他振興・活用等	
① 四万十町文化財保護事業費補助金	
・ 古城山瀬茶堂 修繕	412,000円
・ 地吉の五ツ鹿踊り用お面 修繕	293,000円
・ 志和薬師寺薬師堂 修繕	2,679,000円
② 中平家屋敷記録保存調査報告	1,339,800円
③ 中平家屋敷解体撤去設計監理	899,250円
④ 中平家屋敷解体工事費	4,213,000円
2. 国・県・町指定の四万十町文化財の登録件数	
国：17件 ・ 県：11件 ・ 町：108件	計：136件
① お雪椿指定解除	令和3年8月31日
(備考)	

2) 重要文化的景観保護活用事業	予算額 1,976千円	決算額 1,762,565円
(現在の実施状況)		
1. 重要文化的景観の重要構成要素の大規模な現状変更についての専門的見地からの検討を行うため、「四万十町文化的景観整備管理委員会」を開催し、専門的見地を踏まえた調査・検討を行った。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回目 令和3年11月 2日</li> <li>・ 第2回目 令和4年 3月10日 (Web会議)</li> </ul>		
2. 四万十町重要文化的景観保存活用計画改定検討業務		
四万十川流域の5市町(梶原町、津野町、中土佐町、四万十町、四万十市)は、平成21年度に重要文化的景観に選定された。		
本町では町内にある重要文化的景観の重要構成要素の保存のために必要な措置を講じながら、地域住民への周知を図るとともに、その価値を認識し、醸成していくことを目的として、平成20年度に「文化的景観保存計画」を策定したが、一定の年月が経過しており、計画の運営体制等について再考が必要な時期を迎えているため、本年度から来年度にかけて、改定についての検討を行っている。本年度は、流域全体で連携・調整を図りながら、流域の基本方針及び町の方針策定の検討を行った。		
3. 四万十川流域重要文化的景観保存活用計画等改定検討会		
保存計画書策定にあたり、文化庁調査官や流域市町の文化的景観整備委員等から専門的見地を踏まえた意見を聴取し計画書に反映する為、検討会を行った。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回目 令和3年8月18日 (Web会議)</li> <li>・ 第2回目 令和4年3月10日 (Web会議)</li> </ul>		
(備考)		

## II 伝承・伝統文化の継承支援

1) 郷土資料館の管理・運営	予算額 2,692千円	決算額 2,586,168円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>郷土資料館（平成2年度建築）の管理・運営状況は、以下のとおり。</p> <p>1. 主に旧大正町が収集した縄文から現代までの民俗資料を展示</p> <p>① 開館日 火曜日～日曜日（開館時間：10時～15時）</p> <p>② 入館料無料（平成25年度から無料とした。）</p> <p>③ 入館者数            令和3年度   ： 1,053人</p> <p style="padding-left: 2em;">参考            令和2年度   ：       798人        令和元年度   ： 1,190人</p> <p style="padding-left: 2em;">                  平成30年度： 1,644人        平成29年度： 1,568人</p> <p>2. 管理</p> <p style="padding-left: 2em;">受付、清掃等の業務として（旧竹内家住宅や旧門脇家住宅も含む。）大正 かざぐるまのメンバーを雇用（パート）し、管理と活用を行っている。</p> <p>3. 主な展示物</p> <p>① 四万十町の有形民俗資料を中心に古文書、農具、山林具、川漁の道具等</p> <p>② 大型磨性石斧、小型有舌尖頭器等縄文時代の石器や土器片等</p> <p>③ 昭和中期の生活道具等</p>		
(備考)		

### ④ 芸術文化活動の推進

#### I 図書館・美術館の充実等

1) 町立図書館・美術館管理運営事業	予算額 29,746千円	決算額 28,595,821円
<p>(現在の実施状況)</p> <p><b>【図書館】 ※ 数値は、大正分館を含む。</b></p> <p>◇ 入館者            22,355人   （令和2年度：19,549人）</p> <p>貸出者数        10,619人   （令和2年度： 9,996人）</p> <p>貸出冊数        44,667冊   （令和2年度：41,572冊）</p> <p>◇ 図書購入冊数    2,867冊   （令和2年度： 2,490冊）</p> <p>※ 令和3年度末蔵書数 74,611冊</p> <p style="padding-left: 2em;">（本館：47,424冊、大正分館：27,187冊）</p> <p>◇ 学校を拠点とした読書活動推進事業</p> <p>① 学校へ団体貸出   ： 4校（昭和小学校、十川小学校、北ノ川小学校、興津小学校）で年間2,380冊</p> <p>② 授業支援（図書貸出）   ： 5校（東又小学校、影野小学校、川口小学校、北ノ川小学校、昭和小学校）で年間390冊</p> <p>③ 小学校への出張「読み聞かせ」   ： 41回（356名）</p> <p>④ 読み聞かせボランティア育成のための勉強会   ： 参加者 延べ98名</p>		

◇ 図書館事業（連続講座、読書週間行事、各種イベント、子ども司書養成講座等）

【美術館】

◇ 入館者数 915人（昨年度：541人）

◇ 展覧会

- ・ わたしの好きな今西中通展
- ・ アンデパンダン展（絵画の部）
- ・ まんが甲子園歴代入賞作品展
- ・ 収蔵作品展（花をめぐる）
- ・ 2021年度読書感想画、読書郵便作品展
- ・ アンデパンダン展（工芸の部）
- ・ 収蔵作品 おひろめ展

◇ 収蔵品 絵画 553点（本年度受入6点）

その他 198点（本年度受入2点）

※ 図書館、美術館ともに、新型コロナウイルス感染症の影響による利用減が見られた前年度と比較して、一定の回復がみられた。

※ 昨年度まで、生涯学習課が所管していた文化的施設整備については、本年度から文化的施設整備推進室（町長部局）が所管するようになった。また、以前から取り組んでいた文化的施設のサービスの基本的な考えと実行計画を示した「四万十町文化的施設サービス計画」を文化的施設整備推進室が中心となって策定した。

（備考）

⑤ 子どもの健全育成の推進

I 乳幼児期の養護及び教育の充実

1) 町立保育所管理運営	予算額 147,915千円	決算額 145,036,025円
<p>（現在の実施状況）</p> <p>利用者数（令和4年3月末時点）</p> <p>【窪川地域】 見付保育所67名、東又保育所39名、興津保育所9名</p> <p>【大正地域】 認定こども園たのの52名、北ノ川保育所21名</p> <p>【十和地域】 小鳩保育所35名、昭和保育所21名 児童数計 : 244名</p> <p>保育の実施時間</p> <p>【短時間保育】 8:30～16:30</p> <p>【標準時間保育】 7:30～18:30</p> <p>職員の資質・専門性の向上対策</p> <p>保育所機能を果たすために不可欠である職員の資質・専門性の向上については、県が行う幼保研修を必修とし、該当職員の研修機会の確保に努めている。</p> <p>【幼保研修】 基本研修（初任者・ミドル・主任・所長の各研修）</p> <p style="padding-left: 2em;">専門研修（保・幼・小連携教育講座、保育技術専門講座等）</p> <p>保育所職員の自己研修活動への支援</p> <p>町内の町立、児協立保育所の全職員が、相互の連絡・連携を図るとともに研修を深め保育所運営の充実・発展に寄与することを目的として、自主的に組織した「こども園・保育所連合会」の活動に対し、研修機会を保障するための代替要員の雇用等、全保育所職員の自己研鑽、資質向上を支援している。</p>		

(備 考)

2) 委託等による保育の実施	予算額 318,679千円	決算額 311,791,954円																				
<p>(現在の実施状況)</p> <p>「くぼかわ保育所」、「松葉川保育所」、「川口保育所」は、運営を委託し保育を行っている。また、「ひかり保育所」については、指定管理により保育を実施している。</p> <p>委託先・指定管理者：社会福祉法人 窪川児童福祉協会</p> <p>【法人の運営】 町の要綱に基づく町補助金で運営</p> <p>【保育所の運営】 児童福祉法に基づく国が定める保育単価により算出される町委託料と町の要綱に基づく町補助金（人件費等補助分）で運営</p> <p>【利用者数】（令和4年3月末時点）</p> <table><tr><td>くぼかわ保育所</td><td>： 128名</td><td>松葉川保育所</td><td>： 49名</td></tr><tr><td>川口保育所</td><td>： 21名</td><td>ひかり保育所</td><td>： 40名</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>児童数計</td><td>： 238名</td></tr></table> <p>【令和3年度保育所運営費】</p> <table><tr><td>◎ 私立保育所運営委託料</td><td>165,008,910円</td></tr><tr><td>◎ 私立保育所運営費補助金（施設）</td><td>72,500,785円</td></tr><tr><td>◎ 私立保育所運営費補助金（本部）</td><td>12,628,382円</td></tr></table> <p>【令和3年度ひかり保育所指定管理料】</p> <table><tr><td>◎ 指定管理料</td><td>61,653,877円</td></tr></table>			くぼかわ保育所	： 128名	松葉川保育所	： 49名	川口保育所	： 21名	ひかり保育所	： 40名			児童数計	： 238名	◎ 私立保育所運営委託料	165,008,910円	◎ 私立保育所運営費補助金（施設）	72,500,785円	◎ 私立保育所運営費補助金（本部）	12,628,382円	◎ 指定管理料	61,653,877円
くぼかわ保育所	： 128名	松葉川保育所	： 49名																			
川口保育所	： 21名	ひかり保育所	： 40名																			
		児童数計	： 238名																			
◎ 私立保育所運営委託料	165,008,910円																					
◎ 私立保育所運営費補助金（施設）	72,500,785円																					
◎ 私立保育所運営費補助金（本部）	12,628,382円																					
◎ 指定管理料	61,653,877円																					
<p>(備 考)</p>																						

3) 多子世帯特定教育・保育施設使用料及び特定保育施設利用者負担金等軽減事業	予算額 —	執行額 —										
<p>(現在の実施状況)</p> <p>○ 多子世帯特定教育・保育施設使用料軽減事業</p> <p>【事業内容】</p> <p>児童（18歳に達する日以降最初の3月31日までの間にある者）を2人以上養育している世帯の第2子以降の特定教育・保育施設使用料を軽減する。</p> <p>【対象施設】 認可保育所等（町内の保育所・認定こども園）</p> <p>【実施方法】 全対象世帯に通知し、保護者からの申請に基づき実施する。</p> <p>【事業費】 保育所・認定こども園（公立8か所、私立3か所）</p> <table><tr><td>事業費（保育利用料減額）</td><td>11,450,350円</td></tr><tr><td>(内訳) 3歳未満第3子以降児童32名</td><td>8,707,850円</td></tr><tr><td>第2子児童 14名</td><td>2,742,500円</td></tr><tr><td>県補助金（3歳未満第3子以降児童）</td><td>4,353,925円</td></tr><tr><td>町負担</td><td>7,096,425円</td></tr></table>			事業費（保育利用料減額）	11,450,350円	(内訳) 3歳未満第3子以降児童32名	8,707,850円	第2子児童 14名	2,742,500円	県補助金（3歳未満第3子以降児童）	4,353,925円	町負担	7,096,425円
事業費（保育利用料減額）	11,450,350円											
(内訳) 3歳未満第3子以降児童32名	8,707,850円											
第2子児童 14名	2,742,500円											
県補助金（3歳未満第3子以降児童）	4,353,925円											
町負担	7,096,425円											

○ 多子世帯特定保育施設利用者負担金等軽減事業

【事業内容】

児童（18歳に達する日以降最初の3月31日までの間にある者）を2人以上養育している世帯の第2子以降の特定保育施設利用者負担金等を軽減する。

【対象施設】 認可外保育施設

【実施方法】 対象施設の利用希望世帯に通知し、保護者からの申請に基づき実施する。

※ 本年度、： 申請なし

(備考) 事業費は、保育利用料（収入）の減額分を記載

4) 幼児教育無償化

予算額

—

決算額

—

(現在の実施状況)

子ども・子育て支援法が改正（令和元年5月）され、令和元年10月から保育所・認定こども園等を利用する3歳児から5歳児までの全ての子どもたちと、0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の子どもたちの利用料無償化がスタートした。

保育料の無償化に伴い、実費徴収することとされた副食費（1人あたり4,500円/月）については、町の方針により無償としている。

(備考)

II 子ども・子育て支援対策

1) 子ども・子育て支援対策事業

予算額

20 千円

決算額

18,400 円

(現在の実施状況)

平成27年度から新制度での運用を開始したこの事業については、「第1期計画」が改訂の時期を迎えたことから、令和2年に「第2期四万十町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、年1回進捗状況の確認を行い、各分野において相互連携を図り事業を進めている。

(備考)

2) 子育て支援センター管理運営

予算額

7,596 千円

決算額

7,037,483 円

(現在の実施状況)

【子育てひろば】 毎月6～7回開催（新型コロナウイルス感染症の影響により、開催ができない月もあった。）

【園庭・施設開放】 月～金曜日 9：00～12：00・13：00～16：30

参加者数： 2,475名

- ・ 親子で一緒に遊ぶ場の提供と保護者同士の友達づくりの援助を行っている。
- ・ 絵本の読み聞かせ等を行っている。
- ・ 職員による育児相談、離乳食指導、子育てに関する支援、保護者のリフレッシュ活動等を行っている。
- ・ 町内の保育所へ出かけ施設見学や職員、園児との交流を行っている。

（新型コロナウイルス感染症の為に開催ができない保育所もあった。）

【子育て講演会】 開催回数 : 39回 (参加者数: 213名)

【子育て通信】

- ・ 月の予定、子育て支援センター利用案内、健康福祉課より健診のお知らせ、栄養士のワンポイント・食育のお知らせ等の子育て情報紙を発行し、未就園児のいる世帯に情報を手渡しまたは郵送で提供している。

【育児相談】 月～金曜日 185件

- ・ 子育てひろばの開催時や園庭開放時に保育所入所、一時預かり、子育てについて(排泄、食事、歯、発達等)の相談に対応している。
- ・ 電話相談を行い、内容によっては健康福祉課(保健師)につないだ。

【家庭訪問】

- ・ 保健師の新生児訪問に同行し、子育て支援センターの役割や利用について説明(P.R)を行った。(新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問できないことが多かった。)

【一時預かり保育】 利用回数 窪川地域子育て支援センター : 103回  
大正地域子育て支援センター : 0回  
十和地域子育て支援センター : 8回

- ・ 保育所へ入所していない満1歳から就学前の町内居住児童を対象に実施している。

(備考)

3) ファミリーサポートセンター	予算額 3,610千円	執行額 3,069,703円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>しまんと町社会福祉協議会を事業者として選定し、令和2年7月に開所したファミリーサポートセンターの本年度の利用状況等については、次のとおりである。</p> <p>本年度の利用状況・サービスの内容</p> <p>【援助会員養成講座】 講習会を、窪川地区で開催し7人が受講</p> <p>【会員登録数】 依頼会員 : 15人 援助会員 : 12人 両方会員 : 4人 合計 : 31人</p> <p>【会員交流会】 新型コロナウイルス感染症の影響により、交流会は開催しなかった。</p> <p>【活動内容/活動件数】 日中預かり : 29件 保育施設・学童への迎え及び預かり : 19件 送迎のみ : 8件 合計 : 56件</p>		
(備考)		

### Ⅲ 少年健全育成対策の推進

1) わんぱく学校	予算額 610 千円	決算額 338,889 円																									
<p>(現在の実施状況)</p> <p>1. 町内の小学4・5・6年生を対象に参加者を募集し、年間を通じて様々な体験学習を行った。</p> <p>◎主な活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業名</th> <th>対象学年</th> <th>内 容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>夏季研修</td> <td>小学4・5・6年生</td> <td>ラフティング・ジップライン</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>秋季研修</td> <td>小学4・5・6年生</td> <td>ピザ作り体験・火おこし体験・ドローン操作体験</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ふるさと学習</td> <td>小学4・5・6年生</td> <td>間伐体験・きのこ菌打ち体験</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ふるさと学習</td> <td>小学4・5・6年生</td> <td>防災学習・陶芸教室</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. ジュニアリーダーの育成</p> <p>町内の中学生を対象にサポートを募集し、参加があった「わんぱく学校事業」ではジュニアリーダーとしての活動を通じてリーダーの育成を行った。</p>				事業名	対象学年	内 容	参加者数	1	夏季研修	小学4・5・6年生	ラフティング・ジップライン	38人	2	秋季研修	小学4・5・6年生	ピザ作り体験・火おこし体験・ドローン操作体験	21人	3	ふるさと学習	小学4・5・6年生	間伐体験・きのこ菌打ち体験	中止	4	ふるさと学習	小学4・5・6年生	防災学習・陶芸教室	中止
	事業名	対象学年	内 容	参加者数																							
1	夏季研修	小学4・5・6年生	ラフティング・ジップライン	38人																							
2	秋季研修	小学4・5・6年生	ピザ作り体験・火おこし体験・ドローン操作体験	21人																							
3	ふるさと学習	小学4・5・6年生	間伐体験・きのこ菌打ち体験	中止																							
4	ふるさと学習	小学4・5・6年生	防災学習・陶芸教室	中止																							
(備 考)																											

2) 子ども会・スポーツ少年団活動支援	予算額 647 千円	決算額 631,240 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>四万十町子ども会相互の連絡提携とその充実振興を図ることにより、子どもの健全育成に寄与するため、子ども会の活動に対して支援を行っている。</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども会ソフトボール大会」 県内8チーム参加</li> <li>・「山・川・海ソフトボール交流大会」 県内9チーム参加</li> <li>・「子ども会新人ソフトボール大会」 県内7チーム参加</li> <li>・「四万十町子ども会連合会駅伝大会」 窪川地区の小学生が参加</li> </ul> <p>「子ども会で参加する鳴子踊り」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p>		
(備 考)		

3) 青少年育成事業	予算額 346 千円	決算額 184,987 円
(現在の実施状況)		
① 育成事業		
・ 釣り大会	令和3年6月13日(日) (新型コロナウイルス感染症の影響で中止)	
・ 夏休みの工作教室	令和3年8月7日(土)、8日(日)	小学生49名参加
・ 竜串ツアー	令和3年10月	(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
・ 冬の工作教室	令和3年12月4日(土)、5日(日)	小学生29名参加
・ SDGs講演会	令和4年2月15日(火) (新型コロナウイルス感染症の影響で中止)	
(備考)		

#### IV 少年非行の早期発見と早期指導

1) 青少年育成補導(青少年育成補導推進事業)	予算額 9,690 千円	決算額 9,473,007 円
(現在の実施状況)		
1. 四万十町少年補導センター		
(1) 職員等		
所長	1人(兼務/会計年度任用職員)	
次長	1人(兼務/町教育委員会事務局職員)	
補導教員	1人(県教職員)	
専任補導員	3人(窪川地区:1人、大正・十和地区:2人/会計年度任用職員)	
補導員	46人(任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日)	
	[内訳] 窪川地区:26人、大正地区:10人、十和地区:10人)	
(2) 主な活動(令和3年度)		
・ 定例補導	早朝、夕方、夜間、列車補導(定期的に実施)	
・ 特別補導	各種イベント、夏祭り等に合わせて実施。	
回数等	窪川地区	: 71回(231人)
	大正・十和地区	: 66回(350人)
(3) その他の活動		
防犯教室、情報モラル教室、児童生徒指導教員連絡会、運営協議会、少年補導員総会、西部地区補導育成センター連絡協議会、四国少年補導センター連絡協議会等		
2. スクールガード・リーダー事業		
各担当地区内の小学校と連携し、登下校時に巡回することによって学校内・外や通学路の安全確保、学校への助言等を行っている。		
スクールガード・リーダー数	3人	
窪川地区	: 2人(窪川小学校、川口小学校、米奥小学校、七里小学校) (東又小学校、仁井田小学校、影野小学校、興津小学校)	
大正・十和地区	: 1人(田野々小学校、北ノ川小学校、昭和小学校、十川小学校)	



(備 考)

V 各種関係機関・地域等との連携

1) 放課後子ども教室	予算額 33,211 千円	決算額 31,513,470 円
(現在の実施状況) 仁井田小学校、影野小学校、七里小学校、米奥小学校、窪川小学校、窪川小学校（旧口神ノ川小学校）、川口小学校、東又小学校、田野々小学校、北ノ川小学校、十川小学校、昭和小学校の11校区（12ヶ所）で放課後子ども教室を実施している。 登録児童数 : 283人 登録指導者数 : 112人		
(備 考)		

2) 成人式	予算額 453 千円	決算額 414,927 円
(現在の実施状況) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される状況にあったが、感染防止対策を徹底し、次のとおり成人式を実施した。 実施日 : 令和4年1月2日 実施場所 : 窪川四万十会館 出席者数 : 新成人 118名 (対象者 141人) 実施内容 : 式典、四万十町特産品抽選会、ビデオレター 事前準備 : 成人式アトラクション実行委員会 実行委員 : 6人 開催回数 : 5回開催 (9月～12月)		
(備 考)		

⑥ 地域・家庭・関係機関等との連携活動充実

I 子ども・家庭の生活習慣の確立

1) 地域の子育て力強化事業	予算額 300千円	決算額 300,000円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>地域の大人と子どもが、顔の分かり合える関係を築きながら、子どもたちが地域に誇りを持ち、また、活動を支える住民にとっての元気の源となるよう、次の勉強会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域・家庭の子育て勉強会（講演会）『落語から学ぶコミュニケーション』</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">講師：春風亭柳若</p> <p>11月13日 影野小学校 参加者：児童、保護者、地域の方 計50名</p> <p>11月14日AM 仁井田小学校 参加者：地域の方 計40名</p> <p>11月14日PM 影野小学校 参加者：地域の方 計50名</p> <p>11月15日 仁井田小学校 参加者：児童、保護者、地域の方 計40名 参加者：合計180名</p>		
(備考)		

II 家庭・地域の教育力の向上

1) 学校支援地域本部事業（地域学校協働本部）	予算額 2,996千円	決算額 2,462,515円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>学校支援地域本部事業（地域学校協働本部）の状況</p> <p>平成28年度開設：窪川小学校、仁井田小学校、東又小学校</p> <p>平成29年度開設：北ノ川小・中(小中で本部設置)、昭和小学校</p> <p>平成30年度開設：影野小学校、七里小学校、米奥小学校、川口小学校、興津小学校、田野々小学校、十川小学校、十川中学校</p> <p>令和2年度開設：窪川中学校、大正中学校</p> <p>各校において、地域と学校が協働し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる環境づくりを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせや放課後の加力指導等を取り入れている。</li> <li>全ての協力者（地域、保護者等）に保険を掛け、安全安心な取組を推進している。</li> </ul>		
(備考)		

⑦ 学習環境の向上

I 拠点となる施設の拡充等

1) 生涯学習拠点施設の活用	予算額 155,658 千円	決算額 151,474,258 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p><b>【文化施設】</b> (年間利用人数) : 施設概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窪川四万十会館 (6,766人) : 町民の明るく豊かな文化生活に寄与し、文化事業の推進その他の催物の用に供するための施設。講演会やコンサート等の文化活動を行っている。</li> <li>・ ふるさと未来館 (2,741人) : 町民の主体的参画と自由な発想による住民主体の地域づくりを支援し、その効果が広く地域に波及していくことを目的とした施設。住民のコミュニティー活動を行っている。</li> <li>・ 図書館本館 (14,833人) : 新型コロナウイルス感染症予防のため一部イベントを中止したが、利用者数は前年度から1,945人増加(前年比115%)した。個人貸し出し利用者数前年比105%、個人貸出冊数前年比106%と増加傾向にある。団体貸出についても、利用冊数が前年比103%増加した。</li> <li>・ 図書館大正分館 (7,522人) : 利用者数は、前年度から861人増加(前年比112%)した。また、個人貸出冊数については、増加(前年比107%)し、団体貸出冊数は前年並み(前年比100%)となった。</li> <li>・ 美術館 (915人) : 本年度は、年間を通して7回の展覧会を開催し、前年よりも入館者数が増加(前年比169%)した。</li> </ul> <p><b>【体育施設】</b> : 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窪川運動場 : 町民の体育の普及振興等を図り、心身の健全な発達に寄与するための施設。若者から高齢者がグラウンドゴルフ・サッカー・テニス・野球等の社会体育活動を行っている。</li> <li>・ 勤労者体育館 : 町民と町内の事業所に働く勤労者の体力増進と勤労意欲の向上を図るための施設。町内で働く勤労者がバレーボール、卓球などの社会体育活動を行っている。</li> <li>・ B&amp;G海洋センター : 町民の体育の普及振興等を図り、心身の健全な発達に寄与するための施設。若者から高齢者が水泳、バレーボール、筋力トレーニング等の社会体育活動を行っている。</li> </ul>		
<p>(備考)</p>		